



INDEX

- ・ 令和6年度 第3回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催 1
- ・ 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ –プレゼントキャンペーンについて– 2
- ・ 令和5年 農業総産出額及び生産農業所得（農林水産省） 3-5
- ・ 統計データ 6
- ・ 協会活動報告 7

令和6年度第3回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催

令和6年シーズンの鳥インフルエンザの発生件数は、過去最多の発生となった令和4年シーズンに比べ、2月1日時点比で約2/3に達しており（家きん。最新情報は、添付URL参照）、特に1月に入ってから急増し、更なる拡大が憂慮されています。

このようななか、（一社）日本養鶏協会は1月17日に「令和6年度第3回鳥インフルエンザ問題対策委員会」を開催しました。

同委員会においては、令和6年シーズンの鳥インフルエンザの発生件数が増加していることを踏まえつつ、直面する課題について審議がなされました。

まず、本シーズンにおける鳥インフルエンザ経営再建保険の保険金支払い等に係る状況と課題が報告されました。また、第9期家畜防疫互助基金支援事業に係る当協会の業務実施細則の一部改正案について審議了承され、改正の手続きを進めるとともに、当協会への提出書類の様式等を協会ホームページに掲載した上、その旨を全加入者にお知らせしました。

さらに、全国における鳥インフルエンザ発生時の対応状況（埋却、焼却、レンダリングの実態と課題、左記を検討するための地域協議会等の枠組みの有無、処分時の課題等）にかかるアンケート調査案について審議され、本年5～6月の調査実施を別途として引き続き準備作業を進めることとなりました。本調査結果を踏まえ、地域協議会や処分方法に関する課題や先進事例を取りまとめることとしています。

最後に、鳥インフルエンザなどのウイルス性新興感染症並びに人獣共通感染症の分野での第一人者であるイタリヤ・カプア博士（ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院ヨーロッパ校国際衛生シニアフェロー）を招へいしての講演会開催（6月開催を検討中）に係る準備状況についても報告がなされました。

（参考）

高病原性鳥インフルエンザの発生状況について（最新版）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r6_hpai_kokunai.html

【お問い合わせ】

業務第1部

TEL : 03-3297-5515



鶏卵公正取引協議会からのお知らせ －プレゼントキャンペーンについて－



鶏卵公正取引協議会では、公正マークの普及や鶏卵の表示に関する消費者の理解促進を図るため、毎年2回「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」を実施しています。

今回のキャンペーンは、新たな取り組みとして、**クイズに正解するとたまご券5枚(500円相当)を毎回100名の消費者**にプレゼントします。

令和6年度については

第1回 令和7年2月10日～2月28日

第2回 令和7年3月10日～3月28日

で実施する予定にしています。

クイズの問題は、昨年度同様に「**黄身の色で栄養価が違うのでしょうか?**」などの鶏卵の基礎知識を関連させた問題を出題し、消費者の理解度を確認する予定です。

日本養鶏協会のホームページからもアクセスできますので、お時間のある際にご覧いただければ幸いです。

なお、2回のキャンペーンの結果につきましては5月号の日鶏協ニュースでお知らせする予定ですのでご期待ください

【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 事務局 (https://www.jpa.or.jp/keiran_root/)

E-mail : teritama@jpa.or.jp Tel : 03-3297-5516 Fax : 03-3297-5519



令和5年 農業総産出額及び生産農業所得（農林水産省）

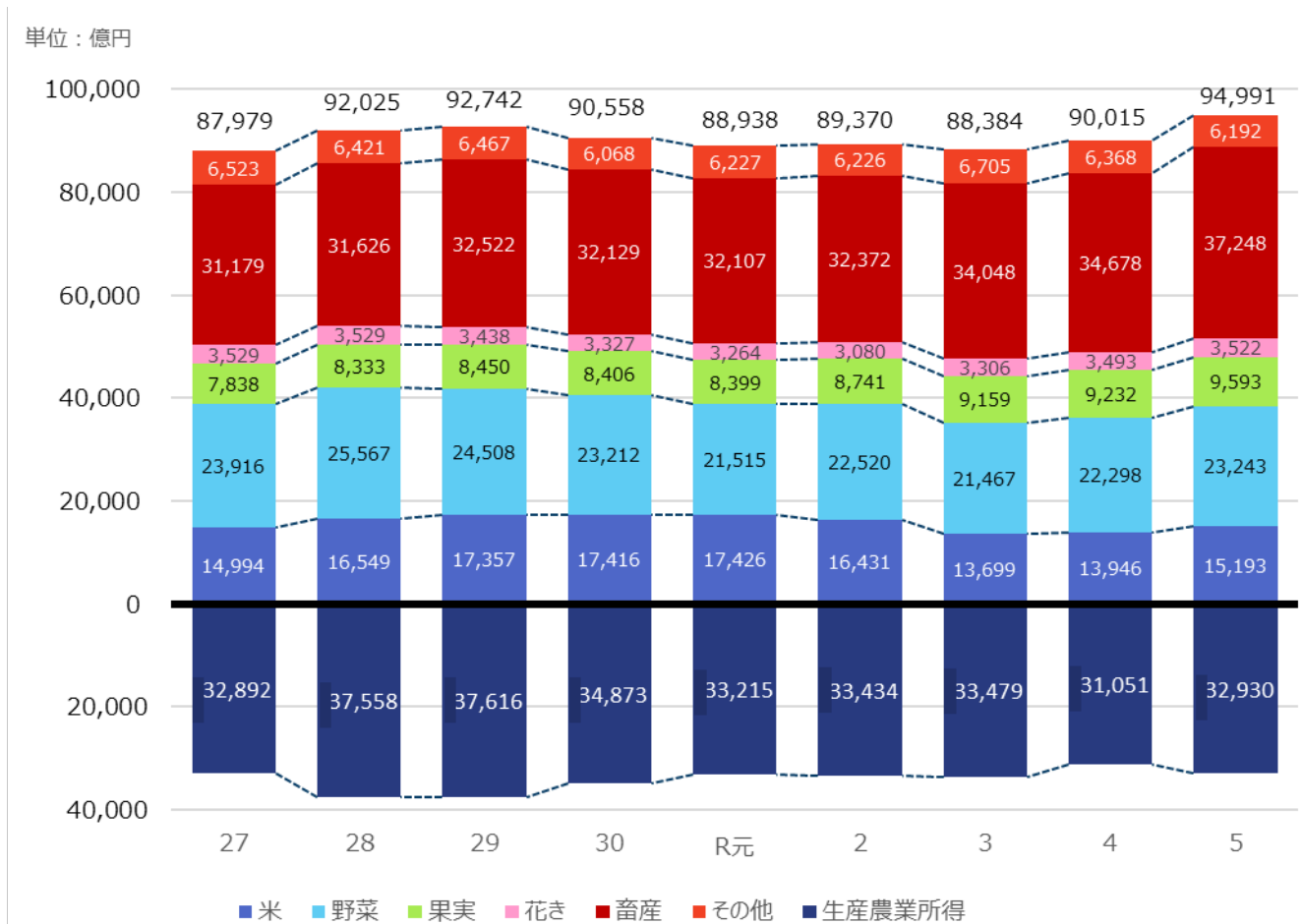
令和6年12月24日、農林水産省から「令和5年 農業総産出額及び生産農業所得」が公表されました。採卵養鶏経営に係るデータをご紹介します。

1. 統計結果の概要

令和5年の農業総産出額は、耕種では米や野菜、畜産では鶏卵の価格が上昇したこと等から、前年に比べ4,981億円（5.5%）増加し、9兆4,991億円となりました。

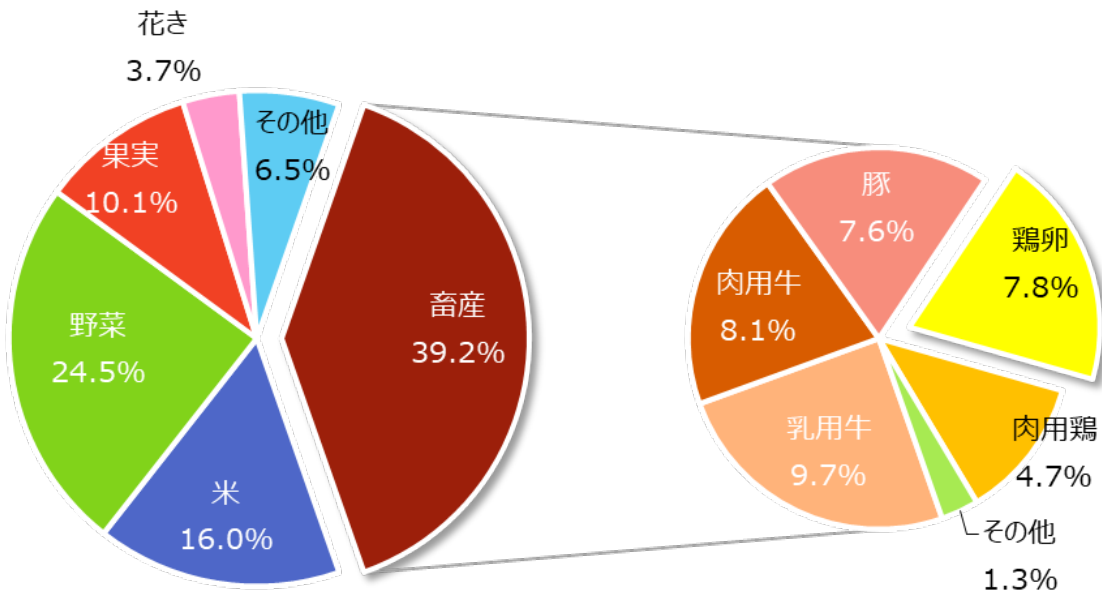
令和5年の生産農業所得は、農産物の価格が上昇したこと等から、前年に比べ1,880億円（6.1%）増加し、3兆2,930億円となりました。

令和5年 農業総産出額及び生産農業所得の推移





令和5年 農業総産出額内訳

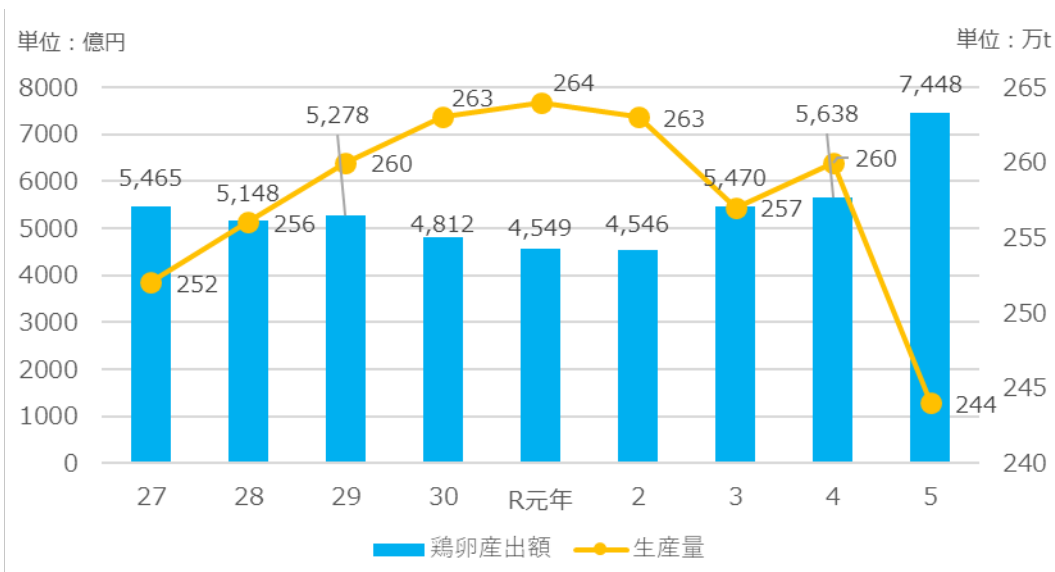


2. 鶏卵産出額の推移（全国）

令和3年以降、鳥インフルエンザの影響により価格が上昇し、鶏卵の産出額は5,000億円を超えて推移してきました。

令和5年は、前年に比べ1,810億円（32.1%）増加し、7,448億円となりました。これは、令和4年10月以降に発生した鳥インフルエンザの影響により生産量が減少し、価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられます。

鶏卵の産出額及び生産量

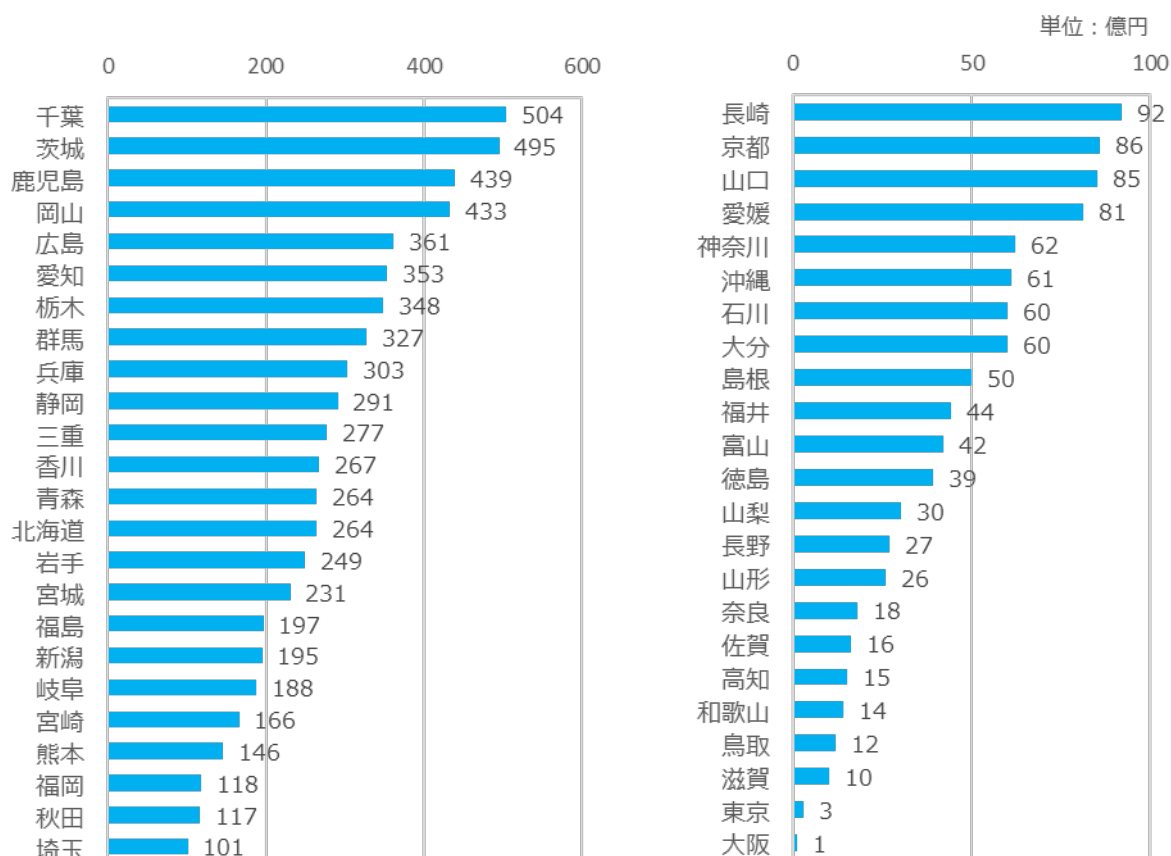




3. 鶏卵産出額（都道府県別）

鶏卵の都道府県別産出額をみると、千葉県が504億円(構成比6.66%)と最も高く、2位に茨城県495億円、3位に鹿児島県439億円、4位に岡山県433億円、5位に広島県361億円の順になっており、上位5県で生産量の29.49%を占めています。

鶏卵産出額（都道府県別）



■ [生産農業所得統計（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/

■ [令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/pdf/shotoku_zenkoku_23.pdf)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/pdf/shotoku_zenkoku_23.pdf

■ [令和5年農業総産出額及び生産農業所得（都道府県別）（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/pdf/shotoku_kentetu_23.pdf)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/pdf/shotoku_kentetu_23.pdf

【お問い合わせ】

農林水産省 大臣官房統計部 経営・構造統計課 分析班

代表：03-3502-8111（内線 3635）ダイヤルイン：03-6744-2042



統計データ



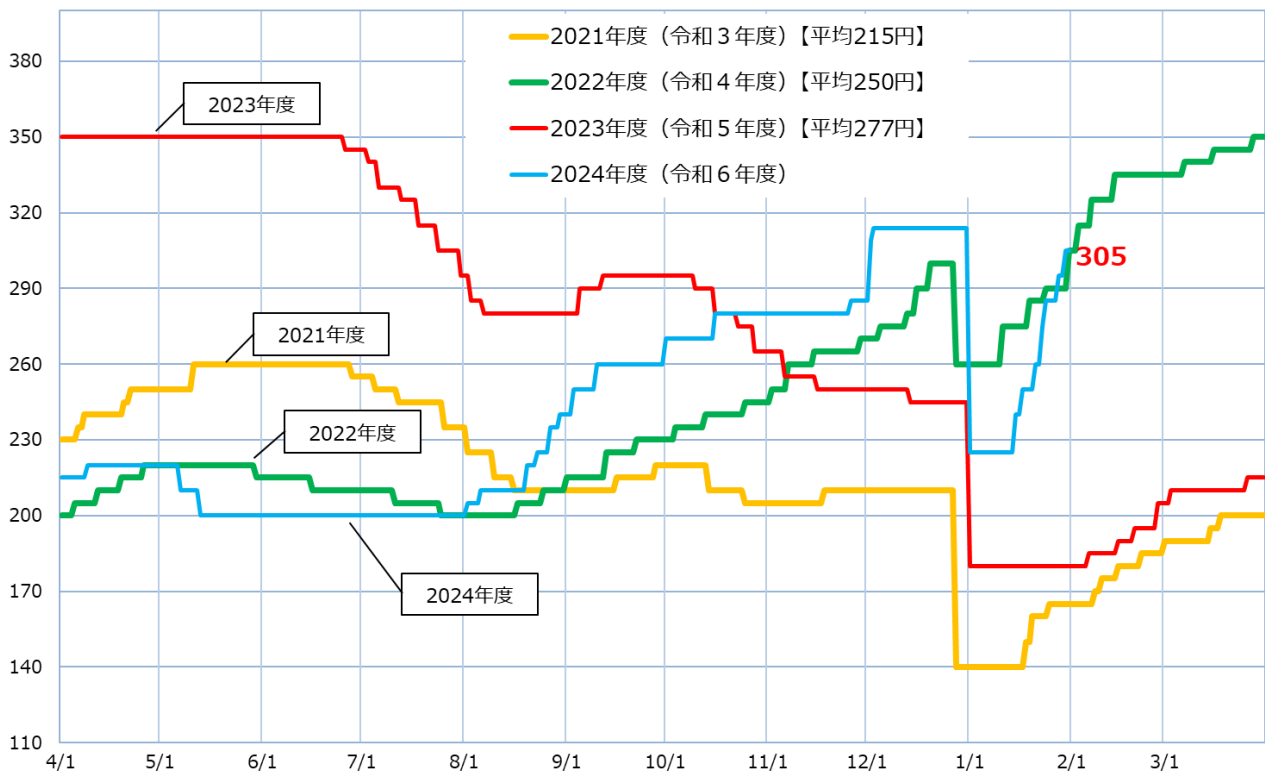
鶏卵相場動向 — 過去10年間の1月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成28年	182	218	164
平成29年	179	213	159
平成30年	159	188	144
令和元年	121	163	94
令和2年	170	200	154
令和3年	142	180	114
令和4年	151	185	134
令和5年	280	329	254
令和6年	180	204	174
令和7年	258	330	219
平均値	182	221	161

令和7年1月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値330円は、過去10年の平均値221円を109円上回り、安値219円は、過去10年の平均値161円を58円上回っています。



鶏卵相場推移 2021年度～2024年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は12月末の290円から価格が上がり1月末では305円まで上がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和6年11月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比★	数量(g)	前年比	前年(円/kg)	本年(円/kg)
5年 12月	9,584	105.6%	501	98.4%	951	100.8%	284	247
6年 1月	7,545	89.0%	456	102.3%	898	100.0%	280	180
2月	7,631	92.1%	453	106.9%	891	105.0%	327	190
3月	8,325	87.9%	464	97.4%	928	112.1%	343	211
4月	8,283	95.0%	478	108.2%	876	103.6%	350	219
5月	8,046	86.1%	477	102.2%	937	112.5%	350	204
6月	8,057	83.6%	439	97.9%	906	110.8%	349	200
7月	8,539	91.6%	450	105.4%	837	102.9%	320	200
8月	7,789	89.6%	434	99.2%	864	100.5%	282	217
9月	7,346	91.2%	426	98.9%	885	104.2%	292	256
10月	8,473	96.3%	484	105.0%	902	101.2%	283	275
11月	7,429	85.7%	471	99.9%	887	101.2%	254	281
1年間合計平均(%)	97,047	91.1%	5,533	101.8%	10,761	104.6%	310(平均)	223(平均)

- ・雛餌付羽数は、7,429千羽（前年比85.7%）と前年比14.3%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、471千トン（前年比99.9%）と前年比0.1%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、887グラム（前年比101.2%）と前年比1.2%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の27円高を示しました。
- ・配合飼料出荷量 前年比★は、生産量の前年比となります。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業参加者の

契約数量（単位：t）

令和3年度	1,840,695
令和4年度	1,794,699
令和5年度	1,731,712
令和6年度	1,824,301

② 標準取引価格

令和7年1月 255.82円/kg

③ 令和6年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 222円/kg

安定基準価格 202円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2025年2月4日

編集・発行責任者：石井 馨 (info@jpa.or.jp)